

北上川上流流域関連花巻公共下水道事業変更計画書

流域関連公共下水道管理者 花巻市長

工事着手の年月日 昭和54年11月12日

工事完成の予定年月日 令和7年3月31日
令和12年3月31日

第1表-1

(分流式污水)

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
予定処理区域の面積	2,993 3,003ヘクタール ※		予定処理区域内の地名	岩手県花巻市 (区域は下水道計画一般図表示のとおり)	
処理分区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	流域下水道との接続箇所の番号	流域下水道との接続箇所の位置	接続する流域下水道の幹線名	摘要
二枚橋処理分区	28	石15	花巻市二枚橋町大通二丁目	石鳥谷幹線	
湯本処理分区	242 254	石14	花巻市二枚橋第6地割	石鳥谷幹線	
宮野目第一処理分区	15	石13	花巻市二枚橋第6地割	石鳥谷幹線	
宮野目第二処理分区	14	石12	花巻市西宮野目第5地割	石鳥谷幹線	
宮野目第三処理分区	12	石11	花巻市西宮野目第5地割	石鳥谷幹線	
宮野目第四処理分区	21	石10-1	花巻市西宮野目第6地割	石鳥谷幹線	
宮野目第五処理分区	333	石10	花巻市西宮野目第13地割	石鳥谷幹線	
北部第一区	330	石9	花巻市浅沢	石鳥谷幹線	
北部第二区	32	石8	花巻市四日町三丁目	石鳥谷幹線	
北部第三区	100	石7-1	花巻市下小舟渡	石鳥谷幹線	
北部第四区	102 101	石7	花巻市下小舟渡	石鳥谷幹線	

※各処理分区面積が正数丸め(少数点以下四捨五入)記載のため合計値は、記載加算値とは不整合

処理分区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘要
中西部 処理分区	534 534	石6	花巻市高田	石鳥谷幹線	
東部 処理分区	214 214	石5	花巻市高田	石鳥谷幹線	
南部第一 処理分区	162	石4	花巻市桜町 三丁目	石鳥谷幹線	
南部第二 処理分区	23	石3	花巻市外台	石鳥谷幹線	
南部第三 処理分区	112 115	石2	花巻市南城	石鳥谷幹線	
南部第四 処理分区	14	石1-1	花巻市十二丁目	石鳥谷幹線	
南部第五 処理分区	143 140	石1	花巻市十二丁目	石鳥谷幹線	
南部第六 処理分区	27	石1-0	花巻市成田 第14地割	石鳥谷幹線	
南部第七 処理分区	23	花7	花巻市成田 第15地割	花北幹線	
石鳥谷第十 処理分区	164	石25	花巻市石鳥谷町 好地第7地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第九 処理分区	27	石24	花巻市石鳥谷町 好地第6地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第八 処理分区	8	石23	花巻市石鳥谷町 八幡第4地割	石鳥谷幹線	

処理分区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
石鳥谷第七 処 理 分 区	33	石 2 2	花巻市石鳥谷町 八幡第4地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第六 処 理 分 区	102	石 2 1	花巻市石鳥谷町 八幡第2地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第五 処 理 分 区	34	石 2 0	花巻市石鳥谷町 八幡第1地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第四 処 理 分 区	35	石 1 9	花巻市石鳥谷町 西中島第3地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第三 処 理 分 区	72	石 1 8	花巻市石鳥谷町 黒沼第5地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第二 処 理 分 区	14	石 1 7	花巻市石鳥谷町 江曾第4地割	石鳥谷幹線	
石鳥谷第一 処 理 分 区	25 24	石 1 6	花巻市石鳥谷町 南寺林第5地割	石鳥谷幹線	

予 定 排 水 区 域 及 び 放 流 箇 所 調 書					
予定排水区域 の面積	722 ヘクタール		予定排水区域内 の地名	岩 手 県 花 巻 市 (区域は下水道計画一般図表示のとおり)	
排水区の名称	面 積 (単位:ヘクタール)	放流箇所 の番号	放流箇所の位置	放流先の名称	摘 要
二 枚 橋 排 水 区	28				
台 水 川 排 水 区	5				
温 泉 第 一 排 水 区	64	20	花巻市湯本第2地割	北湯口用水路	
温 泉 第 二 排 水 区	16				
五 内 川 第 一 排 水 区	37	47 48	花巻市東宮野目第6地割 花巻市東宮野目第6地割	五内川	
枇 杷 沢 川 排 水 区	24				
後 川 排 水 区	168	24 36 38 40 40-1	花巻市西大通り一丁目 花巻市坂本町 花巻市坂本町 花巻市下小舟渡 花巻市桜台	後 川	
豊 沢 川 左 岸 第 一 排 水 区	144	1 23	花巻市南川原町 花巻市石神町	豊沢川	
豊 沢 川 左 岸 第 二 排 水 区	53	2	花巻市南大通り一丁目 花巻市南大通り二丁目	大堰川	
豊 沢 川 右 岸 排 水 区	43	41 42 42-1	花巻市桜町一丁目 花巻市桜町二丁目 花巻市不動	豊沢川	

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	放流箇所の 番号	放流箇所の位置	放流先の名称	摘要
北上川右岸 第一排水区	76	22	花巻市高田	北上川	
北上川右岸 第二排水区	10	46	花巻市桜町三丁目	北上川	
北上川左岸 第一排水区	22	43	花巻市高木第28地割	北上川	
北上川左岸 第二排水区	24	44 45	花巻市高木第20地割 花巻市高木第21地割	水路	
花巻南高校	9				

第2表

計 画 降 雨 調 書			
処 理 区 の 名 称	計 画 降 雨		摘 要
	一時間当たりの降雨量 (単位 ミリメートル)	確率年	
花 北 処 理 区	42.2	10年	旧花巻市区域 旧石鳥谷町区域

第3表

吐 口 調 書							
排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の名称	放流先の水位	摘 要
温泉第一排水区	分流式雨水管渠	20	花巻市湯本第2地割	3.130	北湯口用水路	—	—
五内川第一排水区	分流式雨水管渠	47	花巻市東宮野目第6地割	3.873	五内川	—	—
五内川第一排水区	分流式雨水管渠	48	花巻市東宮野目第6地割	2.514	五内川	—	—
後川排水区	分流式雨水管渠	24	花巻市西大通り一丁目	3.630	後川	—	—
後川排水区	分流式雨水管渠	36	花巻市坂本町	1.692	後川	—	—
後川排水区	分流式雨水管渠	38	花巻市坂本町	9.204	後川	—	—
後川排水区	分流式雨水管渠	40	花巻市下小舟渡	4.403	後川	—	—
後川排水区	分流式雨水管渠	40-1	花巻市西大通り一丁目	1.528	後川	—	—
豊沢川左岸第一排水区	分流式雨水管渠	1	花巻市南川原町	20.803	豊沢川	—	—
豊沢川左岸第一排水区	分流式雨水管渠	23	花巻市石神町	3.509	豊沢川	—	—
豊沢川左岸第二排水区	分流式雨水管渠	2	花巻市大通り一丁目 花巻市大通り二丁目	14.316	大堰川	—	—
豊沢川右岸排水区	分流式雨水管渠	41	花巻市桜町一丁目	1.476	豊沢川	—	—
豊沢川右岸排水区	分流式雨水管渠	42	花巻市桜町三丁目	1.754	豊沢川	—	—
豊沢川右岸排水区	分流式雨水管渠	42-1	花巻市不動	6.440	豊沢川	—	—
北上川右岸第一排水区	分流式雨水管渠	22	花巻市高田	9.068	北上川	—	—
北上川右岸第二排水区	分流式雨水管渠	46	花巻市桜町三丁目	3.142	北上川	—	—
北上川左岸第一排水区	分流式雨水管渠	43	花巻市高木第28地割	12.135	北上川	—	—
北上川左岸第二排水区	分流式雨水管渠	44	花巻市高木第20地割	3.052	水路	—	—
北上川左岸第二排水区	分流式雨水管渠	45	花巻市高木第21地割	2.673	水路	—	—

第4表-1

(分流式汚水)

管 渠 調 査 書				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
二 枚 橋 処 理 分 区	200	20	-	
湯 本 処 理 分 区	100~800	10,090	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
宮野目第四 処 理 分 区	200	10	-	
宮野目第五 処 理 分 区	75~450	11,030	9	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
北 部 第 一 処 理 分 区	100~450	6,060	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
北 部 第 二 処 理 分 区	200~250	180	-	
北 部 第 三 処 理 分 区	350~500	1,270	-	
北 部 第 四 処 理 分 区	75~500	2,440	2	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
中 西 部 処 理 分 区	100~800	15,140	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
東 部 処 理 分 区	200~500	3,920	2	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
南 部 第 一 処 理 分 区	150~300	2,620	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
南 部 第 二 処 理 分 区	200~800	110	-	
南 部 第 三 処 理 分 区	200~350	2,120	-	
南 部 第 五 処 理 分 区	200~300	3,710	-	

処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
南 部 第 六 処 理 分 区	200	10	-	
南 部 第 七 処 理 分 区	200	30	-	
石 鳥 谷 第 一 処 理 分 区	100~200	230	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
石 鳥 谷 第 三 処 理 分 区	75~250	6,940	3	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
石 鳥 谷 第 四 処 理 分 区	100~250	880	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
石 鳥 谷 第 五 処 理 分 区	200~250	520	-	
石 鳥 谷 第 六 処 理 分 区	100~350	1,670	1	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
石 鳥 谷 第 七 処 理 分 区	200	40	-	
石 鳥 谷 第 九 処 理 分 区	250	40	-	
石 鳥 谷 第 十 処 理 分 区	75~800	2,650	2	方法:マンホールに入孔、 あるいは、鏡等を用 いた管内調査 頻度:5年に1回以上
合 計		71,730	25	

第4表-2

(分流式雨水)

管 渠 調 書				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
温 泉 第 一 排 水 区	1 0 0 0 × 9 6 0	250	-	
	1 2 0 0 × 1 2 0 0	120		
	小 計	370		
五 内 川 第 一 排 水 区	1 0 0 0 × 1 4 0 0	280	-	
	1 0 0 0 × 1 5 0 0	190		
	1 2 0 0 × 1 2 0 0	250		
	1 3 0 0 × 1 3 0 0	210		
	1 5 0 0 × 1 5 0 0	810		
	小 計	1,740		
後 川 排 水 区	1 0 0 0 × 1 0 0 0	10	-	
	1 0 0 0 × 1 2 0 0	350		
	1 2 0 0 × 9 6 0	270		
	1 2 0 0 × 1 2 0 0	60		
	1 4 0 0 × 1 2 0 0	210		
	1 4 0 0 × 1 4 4 0	110		
	1 6 0 0 × 1 2 0 0	160		
	1 8 0 0 × 1 4 4 0	130		
	2 0 0 0 × 1 4 4 0	280		
	2 0 0 0 × 2 0 0 0	220		
	2 4 0 0 × 1 6 8 0	480		
	2 5 0 0 × 1 3 0 0	250		
	2 8 0 0 × 1 5 0 0	690		
	2 8 0 0 × 1 6 8 0	270		
小 計	3,490			

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
豊 沢 川 左 岸 第 一 排 水 区	1 0 0 0 × 9 6 0	80		
	1 2 0 0 × 1 2 0 0	400		
	1 4 0 0 × 9 6 0	80		
	1 4 0 0 × 1 2 0 0	70		
	1 6 0 0 × 9 6 0	360		
	1 6 0 0 × 1 2 0 0	240		
	1 6 0 0 × 1 4 4 0	430		
	1 8 0 0 × 1 4 4 0	60		
	1 8 0 0 × 1 6 8 0	10		
	2 0 0 0 × 1 6 0 0	30		
	2 0 0 0 × 1 6 8 0	300		
	2 0 0 0 × 1 9 2 0	360		
	2 2 0 0 × 1 6 8 0	630		
	2 2 0 0 × 1 9 2 0	460		
	2 4 0 0 × 1 9 2 0	120		
	2 5 0 0 × 2 0 0 0	10		
	2 6 0 0 × 1 9 2 0	170		
	2 6 0 0 × 2 1 6 0	350		
	2 8 0 0 × 1 9 2 0	60		
	3 0 0 0 × 2 4 0 0	280		
4 2 0 0 × 2 4 0 0	300			
小 計	4,800			

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
豊沢川左岸 第二排水区	2500×2500	50	-	
	4000×2200	790		
	5500×3400	10		
	3040×1600 ×2400	120		
	5000×3350 ×2500	50		
	5000×3500 ×2500	110		
	小 計	1,130		
豊沢川右岸 排水区	1000×1200	360	-	
	1200×1200	160		
	1200×1440	260		
	1400×1200	80		
	1400×1680	190		
	1600×1200	110		
	1700×1500	160		
	1800×1500	50		
	2500×1500	70		
	2500×1600	70		
	小 計	1,510		

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
北上川右岸 第一排水区	1 2 0 0 × 1 2 0 0	520	-	
	1 4 0 0 × 1 4 0 0	70		
	1 6 0 0 × 1 2 0 0	90		
	1 6 0 0 × 1 4 4 0	200		
	1 8 0 0 × 1 4 4 0	120		
	2 0 0 0 × 1 4 4 0	660		
	2 2 0 0 × 1 4 4 0	130		
	3 0 0 0 × 1 5 0 0	100		
	3 0 0 0 × 1 6 8 0	30		
	小 計	1,920		
北上川右岸 第二排水区	1 6 0 0 × 1 2 0 0	240	-	
	1 8 0 0 × 1 4 4 0	250		
	1 8 0 0 × 1 5 0 0	110		
	小 計	600		
北上川左岸 第一排水区	2 0 0 0 × 2 0 0 0	290	-	
	2 4 0 0 × 2 4 0 0	370		
	小 計	660		
北上川左岸 第二排水区	1 2 0 0 × 1 2 0 0	320	-	
	1 4 0 0 × 1 4 4 0	420		
	1 6 0 0 × 1 4 4 0	80		
	小 計	820		
合 計		17,040	-	

第6表

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	排水区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位:立方メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
高田排水ポンプ場	北上川右岸 第一排水区	花巻市高田	0.45		550.0	
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の 名 称	数	構 造	能 力	摘 要	
高田排水ポンプ場	沈砂池	4池	鉄筋コンクリート造り	池内流速 0.3m/s 滞留時間 53sec		
	ポンプ設備	2台 3台	立軸斜流ポンプ	φ600mm×50m ³ /min φ1000mm×150m ³ /min		
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り 地上4階 地下1階	エンジン室、電気室、 ポンプ室、発電機室、 事務室、サイレンサー 室、換気ファン室、高 架タンク室、搬入出室 他を含む		

(様式 1) 施設の配置に関する方針

主要な施策 (事業計画に 基づき今後実 施する予定の 事業に関連す るものを記載)	整備水準				事業の 重点化・効率化 の方針	中期目標を 達成するため の主要な事業	備考
	指標等	現在 (R5年度末)	中期目標 (R12年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道処理人口普及率 (汚水処理人口普及率)	66% (91%)	69% (94%)	77% (100%)	令和6年度に見直した汚水処理施設整備計画(アクションプラン)に基づき未整備地区の整備を実施する。	未整備地区内管渠整備事業	
浸水対策	計画降雨に対する整備が完了した面積の割合 一般地区 (42mm/hr、1/10)	9%	9%	9%	現在の整備にて、大きな浸水被害の発生が無いいため、下水道の雨水事業を予定していない。 但し、今後想定外(現行計画諸元規模以上)の降雨などに対応すべく計画見直しを検討する。	当面、予定なし	
耐水化	水害時における機能確保率 ポンプ場(汚水) 揚水機能が確保された施設数(管理ポンプ棟): 1	0% (0)	100% (1)	100% (1)	7年程度で計画規模降雨(1/150)で発生する洪水に対して管理ポンプ棟の揚水機能を確保する。	配線・配管貫通部の閉塞、水密蓋	花巻公共下水道ポンプ施設耐水化計画
耐震化	災害時における機能確保 重要な幹線等(耐震化率)	0%	0%	100%			今後、最新の耐震基準で耐震診断を行う予定である。
	ポンプ場(耐震化率)	100%	100%	100%			

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	腐食のおそれの大きい箇所については、5年に一度、それ以外の箇所については、施設の重要度に応じて、概ね5～15年に一度点検を実施する。点検の結果、異常の可能性のある箇所についてテレビカメラ等による調査を実施する。なお、点検の結果に関わらず、施設の重要度に応じて、概ね10～30年に一度、調査を実施する。
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	設備に応じて概ね1年に一度、設備点検を実施する。点検の結果、異常またはその兆候を確認した場合、分解調査を実施する。
水処理施設 (機械式エアレーション装置)	流域関連のため該当なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	流域関連のため該当なし

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> 腐食のおそれの大きい箇所及び幹線管渠においては、緊急度Ⅱまでに該当する施設を修繕・改築対象とする。 上記以外の枝線管渠においては、緊急度Ⅰに該当する施設を修繕・改築対象とする。 マンホールポンプは、健全度2以下で改築を実施する。
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	主要部位健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。
水処理施設 (機械式エアレーション装置)	流域関連のため該当なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	流域関連のため該当なし

iii) 改築事業の概要（令和4年度～令和8年度）（花北処理区）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠施設については、中期期間内で予定なし。
雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	高田排水ポンプ場については、主要施設は実施しない。但し、雨水ポンプ設備、用水設備、受変電設備、制御・計装用電源設備等の改築を行う予定である。
水処理施設 (機械式エアレーション装置)	流域関連のため該当なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	流域関連のため該当なし

b) 施設の長期的な改築の需要見通し（花巻市全処理区）

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね151百万円	概ね100年後	管路施設：標準耐用年数の2.0倍で改築 ポンプ場施設：健全度予測・予算平準化に基づく改築 処理場施設：健全度予測・予算平準化に基づく改築

(様式3) 下水道事業に関する財政計画書

(単位：千円)

年次	イ. 経費の部									
	建設費					起債償還額	維持管理費	流域下水道分担金	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場(フックス)	計	うち用地費					
過年度 令和5年度 まで	60,208,883	3,215,688	681,099	64,105,670	217,609	50,057,573	13,676,448	5,409,991	43,837	133,293,519
	60,934,867	3,215,688	681,099	64,831,654	217,609	48,804,187	13,681,842	5,213,494	43,837	132,575,014
令和6年度	100,000			100,000		1,893,300	497,300	60,000		2,550,600
	36,900	49,594		86,494		1,769,465	502,100	60,000		2,418,059
令和7年度										
	36,900	19,008		55,908		1,748,000	502,100	60,000		2,366,008
令和8年度										
	36,900	24,070		60,970		1,720,800	502,100	60,000		2,343,870
令和9年度										
	37,000	31,000		68,000		1,687,900	502,000	60,000		2,317,900
令和10年度										
	37,000	31,000		68,000		1,655,000	501,800	60,000		2,284,800
令和11年度										
	37,000	31,000		68,000		1,622,200	501,700	60,000		2,251,900
合計	60,308,883	3,215,688	681,099	64,205,670	217,609	51,950,873	14,173,748	5,469,991	43,837	135,844,119
	61,156,567	3,401,360	681,099	65,239,026	217,609	59,007,552	16,693,642	5,573,494	43,837	146,557,551

(単位：千円)

年次	ロ. 財源の部												
	建設費						維持管理費及び起債償還費			流域下水道分担金			合計
	国費	起債	市費	受益者負担金	その他	計	使用料	市費	計	市費	起債	計	
過年度 令和5年度 まで	18,732,209	39,396,429	2,640,549	2,866,409	470,074	64,105,670	17,500,028	46,277,830	63,777,858	906,591	4,503,400	5,409,991	133,293,519
	19,151,877	39,561,629	2,611,743	3,036,331	470,074	64,831,654	17,029,122	45,500,744	62,529,866	906,994	4,306,500	5,213,494	132,575,014
令和6年度	30,000	65,000	5,000			100,000	770,800	1,619,800	2,390,600		60,000	60,000	2,550,600
	32,200	49,800	4,494			86,494	723,300	1,548,265	2,271,565		60,000	60,000	2,418,059
令和7年度													
	16,900	36,200	2,808			55,908	723,300	1,526,800	2,250,100		60,000	60,000	2,366,008
令和8年度													
	19,400	38,400	3,170			60,970	723,200	1,499,700	2,222,900		60,000	60,000	2,343,870
令和9年度													
	22,900	41,600	3,500			68,000	723,100	1,466,800	2,189,900		60,000	60,000	2,317,900
令和10年度													
	22,900	41,600	3,500			68,000	722,900	1,433,900	2,156,800		60,000	60,000	2,284,800
令和11年度													
	22,900	41,600	3,500			68,000	722,600	1,401,300	2,123,900		60,000	60,000	2,251,900
合計	18,762,209	39,461,429	2,645,549	2,866,409	470,074	64,205,670	18,270,828	47,897,630	66,168,458	906,591	4,563,400	5,469,991	135,844,119
	19,289,077	39,810,829	2,632,715	3,036,331	470,074	65,239,026	21,367,522	54,377,509	75,745,031	906,994	4,666,500	5,573,494	146,557,551
下水道使用料* 関連事項	接続率： 87.1 % (令和5年度：初年度) → 91 % (令和11年度：最終年度)												
	講じる対策： ・ 工事説明会にて供用開始区域及び開始年月を周知するとともに、宅内排水設備工事や水洗化支援制度の説明を行う。 ・ 水洗化を支援する各種補助金制度について、説明会、ホームページ、広報誌、FMラジオ等による広報活動を行う。また、未接続世帯にリーフレットを送付し、接続促進を呼びかける。												
	有収率： 90.3 % (令和5年度：初年度) → 96 %以上 (令和11年度：最終年度)												
講じる対策： 現時点の有収率は、比較的高い値を確保しているため、今後とも、この有収率を維持するため定期的な施設の点検・調査を実施する。													
その他の講じる対策： 住民等利用者の負担を勘案し通増性の改定なども考慮して下水道使用料金体系見直しの検討に取り組む。													